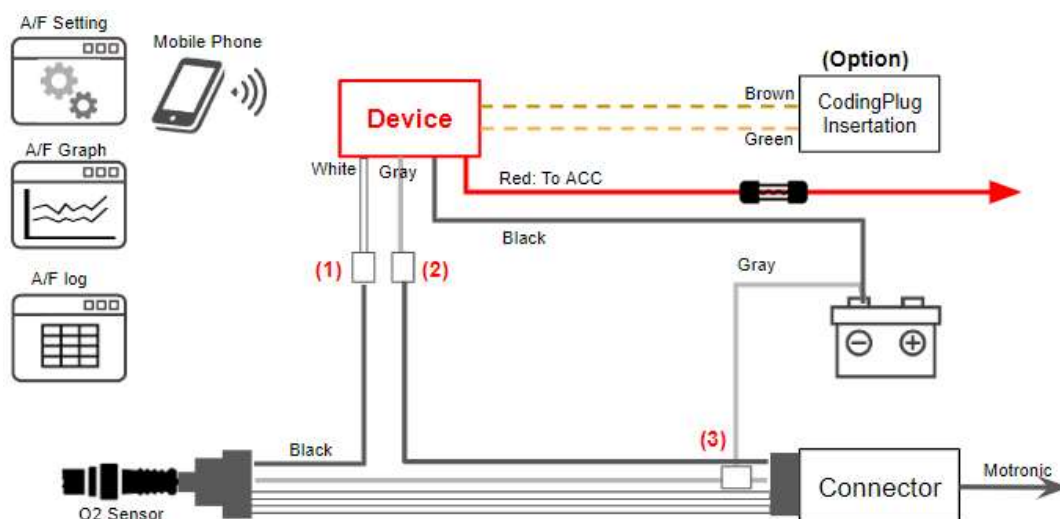


3. 取り付け方法

3.1 デバイス側

配線図を参考に、O2 センサーと電源を接続し、デバイスを適切な場所に取り付ける。
コーディングプラグへの接続は、ECU チップ接続切替のためのオプション。



3.2 車体側

- ・ 配線図を参考に、ストックの O2 センサーの黒と灰のケーブルを切断する。
- ・ センサー側、車体側の灰のケーブルにエレクトロタップを接続し、デバイスの黒と接続する※(3)
- ・ センサー側の黒のケーブルを、デバイスの白に接続する。 ※(1)
- ・ 車体側の黒のケーブルを、デバイスの灰のケーブルに接続する。 ※(2)
- ・ コーディングプラグへの差し込みは平型(250 型)の端子を利用する。抜けないようにケーブルを固定する。

3.3 デバイスのケーブル色と接続先

デバイスのケーブル色	接続先	(参考)内部接続ピン
赤	12v(ACC)	2(VIN+)
黒:	車体のアース。バッテリーのマイナス端子を推奨	1(GND)
白	O2 センサーの黒ケーブル。センサー側	35
灰	O2 センサーの黒ケーブル。車体側	25
茶	コーディングプラグの 86 番端子	18
緑	コーディングプラグの 87 番端子	19